

# 令和4年度学校関係者評価

専門学校中央医療健康大学校 トータルケア鍼灸学科

令和4年度学校関係者評価委員

■保護者

藤本 由賀里 様

■企業関係者

山本 大樹 様(やまも鍼灸院 院長)

■他校関係者

小杉 彰宏先生(中央調理製菓専門学校静岡校 製菓衛生師科 学科長)

## 1. 教育理念・目標

【自己評価結果】		平均
1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	A
2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	A
3	教育理念並びに教育目標が教職員・学生に浸透しているか。	A
4	組織での目標設定が適切にされ、実行できたか。	A
5	鈴木学園クレドは教職員に浸透し、実践されているか。	A

【現状の問題点】

特に問題はないと思われるので、今後も努力していきたい

【改善のための方策】

今後も教育理念や目標が浸透していくようにしていきたい。

【関係者評価】

特記事項なし

## 2. 学校運営

【自己評価結果】		平均
5	目標を達成するための事業計画が策定されているか	A
6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか。	A
7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか。	B
8	就業規則などの諸規定は適切に整備されているか。	A
9	組織内の連携は適切に図られているか。	A
10	上司の指示は適切にされているか	A
11	上司は提案を受け入れてくれているか	A
12	職場内での教職員教育・指導は十分なされているか。	A
13	BSCは適切に活用されているか。	A

<b>【現状の問題点】</b>
大きな問題はないと思われる
<b>【改善のための方策】</b>
差し込み等で済む書類などを洗い出し、各科共有できないか検討していく。 古い書式は削除してもらうよう話をしていく。
<b>【関係者評価】</b>
特記事項なし

<b>3. 教育活動</b>		
<b>【自己評価結果】</b>		平均
14	授業評価の実施・評価体制はあるか	A
15	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	A
16	資格試験の合格率は他校と比較して妥当か。	A
17	資格試験の不合格者の対策は適切に行われているか。	A
18	関連分野における実践的な職業教育産学連携によるインターンシップ、実技・実習等が体系的に位置づけられているか	A
19	目標に到達しない学生には対し適切なフォローがなされているか。	A
20	職員の能力開発のために研修等を実施若しくは派遣しているか	A
20	シラバスは十分に検討し作成されていたか。	A
21	シラバスの内容見直しについて教員間で検討されていたか。	A
22	教務の問題について、組織内で適切に話し合われているか	A
23	十分に余裕を持って教育行事の準備が出来ているか。	B
24	学生による学校評価を反省し、事後の教務を改善しているか。	A
<b>【現状の問題点】</b>		
設問23については改善できるように計画していく必要がある。その他は特に問題ない。		
<b>【改善のための方策】</b>		
決定までに時間がかかるので、今回の反省を踏まえ、もう少し時間に余裕をもって打ち合わせを始める。		
<b>【関係者評価】</b>		
特記事項なし		

4. 学修成果		
【自己評価結果】		平均
26	就職率の向上が図られているか	A
27	退学率の低減が図られているか	B
【現状の問題点】		
退学率の低減は全学的な問題であるので、協力して検討する必要がある		
【改善のための方策】		
学力不安による退学も見受けられるので、新たな補講のやり方等を継続的に検討していく。他学科のやり方等も聞きながら、退学率低減に向け会議を重ねていきたい。		
【関係者評価】		
特記事項なし		
5. 学生生活支援		
【自己評価結果】		平均
28	学生相談、カウンセリングに関する体制が整備・機能しているか。	A
28	各学校行事について、適切な事後反省を行い次回に活かしているか。	A
29	防犯・防災訓練の実施・防災計画の作成等、不法侵入・災害に対する整備は万全か。	A
30	進路活動に関する支援が整備され、機能しているか。	A
31	中途退学の理由、実状を適切に把握し、教職員で共有しているか。	A
【現状の問題点】		
特に問題ないと思われる		
【改善のための方策】		
カウンセラーの先生に挨拶をして頂く時間を設け、メンタルの不調があった際にカウンセリングに行きやすい環境を作る。		
【関係者評価】		
特記事項なし		

6. 教育環境		
【自己評価結果】		平均
33	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	B
【現状の問題点】		
何か必要なものがあるかを学科で検討して行きたい		
【改善のための方策】		
建物の広さにも限界があるので、出来ることを検討していきたい。 (近隣のトレーニングジムとの提携など)		
【関係者評価】		
特記事項なし		

7. 学生の受け入れ募集		
【自己評価結果】		平均
34	学生募集のための広報資料の表現・内容並びに広報活動の方法、時期は適切か。	A
34	入学案内(パンフレット)には志願者が必要とする情報が掲載されているか。	A
35	体験入学の時期、回数、内容は適切か。	A
36	入学者選抜の時期、方針、方法は適切か。	A
【現状の問題点】		
今後も定員確保に努力して行く必要がある		
【改善のための方策】		
本科の魅力が伝わる広報の仕方を再検討していきたい。		
【関係者評価】		
特記事項なし		

8. 財務		
【自己評価結果】		平均
38	・中長期的に所属学科の学費納入基盤は安定しているといえるか	A
39	・学科で策定した予算・収支計画・執行は有効かつ妥当なものになっているか	A

<b>【現状の問題点】</b>
予算の妥当性は作成時によく検討する必要がある
<b>【改善のための方策】</b>
時間に余裕をもって検討していきたい。
<b>【関係者評価】</b>
特記事項なし

<b>9. 法令等の遵守</b>		
<b>【自己評価結果】</b>		平均
40	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
40	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	A
41	個人情報保護法を遵守しているか。	A
42	各種ハラスメントに対する防止・対応策が整備されているか。	B
<b>【現状の問題点】</b>		
ハラスメントについては、意見があれば委員会に申し出てほしい		
<b>【改善のための方策】</b>		
気付いたことがあれば、ハラスメント委員会に申し出るようにしていきたい。		
<b>【関係者評価】</b>		
特記事項なし		